

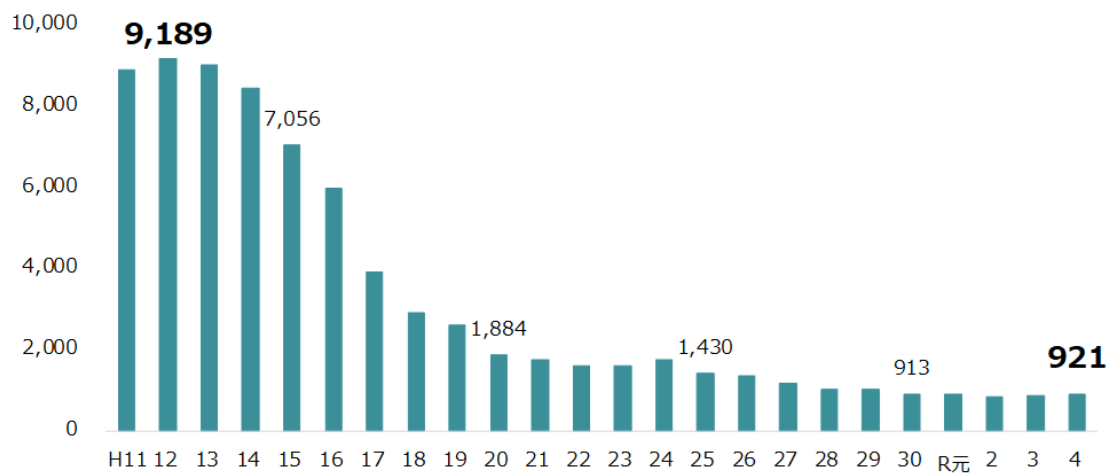
杉並区自転車活用推進計画（令和 6 年 2 月策定）から抜粋

自転車の「放置」とは？

自転車の利用者が自転車を離れて、ただちに移動できない状態のことです。
買い物などで短時間置いても、すぐに動かせなければ放置となります。

■ 放置自転車の推移 平成 11（1999）年度～

平成 12（2000）年度のピークから大幅に減少しましたが、**近年は横ばい**の状況です。



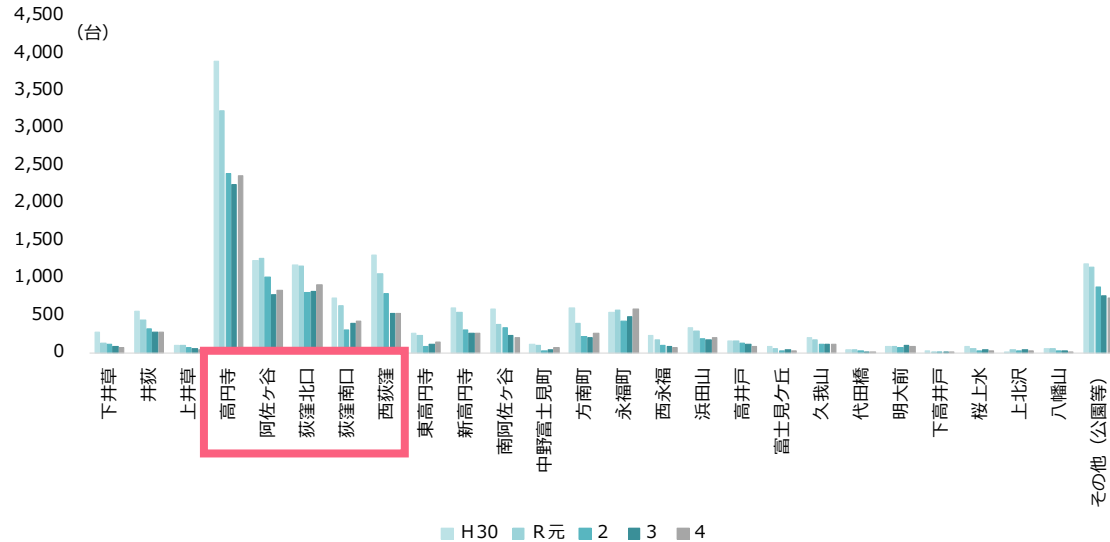
■ 放置自転車の推移（駅ごと） 平成 30（2018）年度～

高円寺駅が最も多く、次いで南阿佐ヶ谷、荻窪駅北口、阿佐ヶ谷駅と続きます。



※ 数値は1日当たりの平均値（各年 5 回調査を実施）

■ 放置自転車の撤去台数（駅ごと） 平成 30（2018）年度～
高円寺駅をはじめとして J R 4 駅が多い状況です。



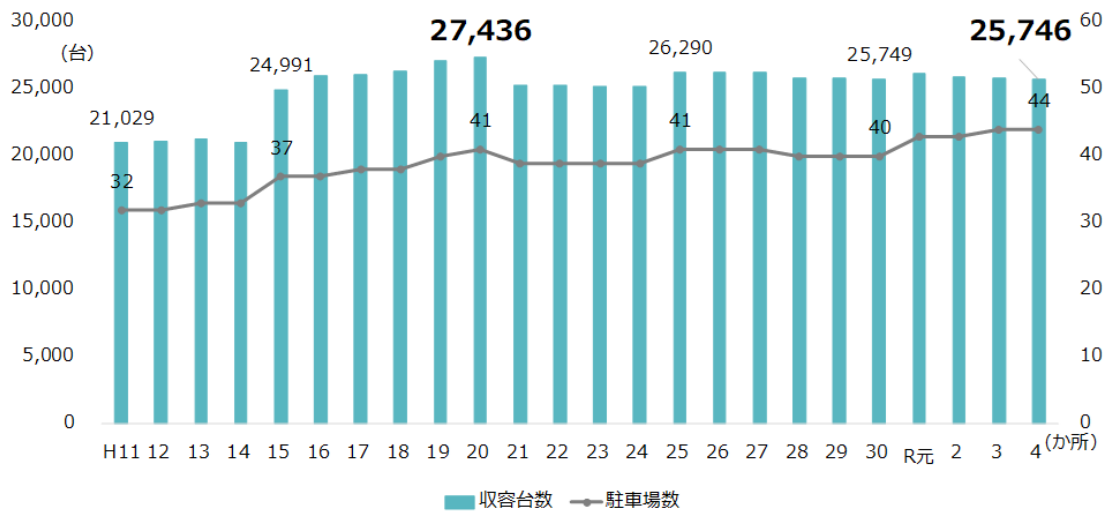
※ 撤去台数と撤去回数は年間の数値

放置自転車は、歩行者の安全な通行を妨げるだけでなく、特に車いすやベビーカー等を利用する方にとって大変危険です。また、災害時の避難・救助活動の妨げとなり、人命に関わるリスクを含んでいます。そのため、区は地域の方々の協力を得て、自転車駐車場の整備や放置自転車の防止など、様々な取組を行っています。

「1台くらいなら…」「少しの時間なら…」という気持ちが多量の放置自転車を呼ぶ原因となります。自転車を利用するときは、自転車駐車場等を利用しましょう。

■ 区立自転車駐車場の収容台数（駐車できる台数）の推移

区立自転車駐車場の収容台数は、**近年横ばい**の状況です。



■ 民営自転車駐車場の収容台数の推移 平成 11（1999）年度～

民営自転車駐車場の収容台数は増加傾向でしたが、**近年は減少**しています。

